

令和7年度第1回

小金井市環境審議会会議録

令和7年度第1回小金井市環境審議会会議録

- 1 開催日 令和7年5月23日（金）
- 2 時間 午前10時から午前11時34分まで
- 3 場所 東小金井駅開設記念会館
- 4 議事 (1) 小金井市環境基本計画中間評価等及び（仮称）小金井市気候市民会議運営スケジュール概要について
(2) 小金井市環境基本計画等中間評価について
(3) （仮称）小金井市気候市民会議の企画概要について
- 5 報告事項 (1) 令和7年度環境政策課環境系の事業計画について
(2) その他
- 6 次回審議会の日程について
- 7 出席者 (1) 審議会委員
副会長 椿 真智子
委員 和田 直人、中里 成子
田頭 祐子、橋本 修
(2) 事務局員
環境政策課長 岩佐 健一郎
環境係長 高野 修平
環境係専任主査 荻原 博
環境係主事 田山 未来
環境係 阪本 晴子
(3) その他出席者
エヌエス環境株式会社
- 8 傍聴者 0名

令和7年度第1回小金井市環境審議会会議録

岩佐課長 定刻になりましたので、令和7年度第1回小金井市環境審議会を開催させていただきます。

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

昨年度の本審議会において地球温暖化対策推進計画における温室効果ガス排出削減目標や気候市民会議について等を議題として、ご審議いただきました。

今年度につきましては、早いもので任期の最終年度となります。後ほど事務局から説明いたしますけれども、気候市民会議の開催や環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画の中間評価等がありますので、通常年度より多い、計6回の審議会を開催する予定です。ご負担をおかけすることにはなりますが、何卒ご審議の程をよろしく願いいたします。

なお、本日は池上会長が所用によりご欠席となりますので、環境基本条例施行規則第2条第4項に基づきまして、副会長が職務を代理することとなりますので、椿副会長に進行をお願いすることとなります。椿副会長、よろしく願いいたします。

椿副会長 私のほうで進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、事務局から事務連絡と本日の配布資料等についての確認をお願いします。

岩佐課長 本日は、池上会長、高田委員、高木委員、土屋委員、近藤委員より欠席の連絡をご欠席の連絡を受けております。

続いて、4月に事務局の環境政策課に人事異動がありましたので職員の紹介をさせていただきます。

石堂が異動となりまして、田山が配属となりました。

田山主事 田山と申します。どうぞよろしく願いいたします。

岩佐課長 続いて、環境基本計画中間評価、気候市民会議運営等に関する委託事業受託事業者であるエヌエス環境株式会社から2名参加していただいております。

今年度1年間、審議会にご出席いただき運営をサポートしていただ

くこととなります。自己紹介をお願いします。

エヌエス環境株式会社岩崎　　今回、中間見直し、それから気候市民会議のお手伝いをさせていただきます岩崎と申します。よろしくお願いいたします。

エヌエス環境株式会社鈴木　　鈴木と申します。気候市民会議の支援をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

岩佐課長　　ありがとうございます。1年間よろしくお願いいたします。
私からは以上です。

田山主事　　続いて事務連絡です。ご発言の際の注意事項についてです。マスクを着用されている場合、ICレコーダの録音内容が聞きづらくなってしまいます。つきましては、質疑応答等、ご発言の際は、ご自身のお名前を先におっしゃった上でのご発言にご協力をお願いします。

また、できる限り短時間で有意義な審議会となるよう努めてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本日は次第と資料1～5、参考資料として令和6年度の各種報告書の冊子を6冊、机上に配布しております。

資料について、事前に電子データでお送りしているものから若干修正している箇所もございますので、あらかじめご了承ください。

不足等がございましたら事務局までお願いいたします。

なお、前回会議の会議録について、校正のご協力をいただきありがとうございました。第2回目の校正期間は本日までとなっておりますので、ご確認をお願いします。

確定後、紙資源削減の観点等から、電子データでのみのご提供とさせていただきますので、修正等がある場合は、事務局まで連絡をお願いします。以上です。

椿副会長　　はい、ありがとうございました。机上に置いていただいている報告書等、大丈夫でしょうか。

それでは、本日の議題に入りたいと思います。事務局から資料の説明をお願いいたします。

高野係長　　それでは、(1)「小金井市環境基本計画中間評価等及び(仮称)小金井市気候市民会議運営スケジュール概要」を説明いたします。

資料1「小金井市環境基本計画中間評価等及び(仮称)小金井市気候市民会議運営スケジュール表」をご覧ください。

今年度は、昨年度からお話させていただいておりますとおり、環境基本計画中間評価を行うことと、第2次地球温暖化対策地域推進計画の中間見直し、概要版を策定すること、(仮称)小金井市気候市民会議の運営ということが今年度の大きな柱となっています。

まず、一番上を御覧ください。一番上に書いてございます「環境基本計画及びみどりの基本計画における市民意識調査等」というものになります。こちらにつきましては、後ほど資料2と資料3で詳しく説明させていただきます。

今回、調査票を作成いたしましたして、審議させていただきまして、6月の中旬に内容を確定させていただき、6月中旬に発送ということをご想定してございます。それから、7月になってから集計・分析という形を取らせていただきたいと思います。後ほど説明いたします気候市民会議の運営にも、若干何かヒントになることがあればというところで、早めに分析をしたいというところもございますので、こういったスケジュールになってございます。

アンケートの集計結果等につきましては、本審議会でもお諮りする予定になってございまして、最終的には報告書作成というところを1月下旬を予定しているところでございます。

2番目に書いてある審議会についてなんですけれども、冒頭、岩佐のほうからも説明がありましたとおり、6回の審議を予定してございます。黒ボツで書いてあるところが審議の予定となつてございまして、審議の日程につきましては、会議の最後にまた御説明させていただければと思つてございます。

続いて、「第2次地球温暖化対策地域推進計画(中間見直し)(概要版)の作成」というところでございます。中間見直しにつきましては、アからロードマップの作成と、イ、施策の検討、ウ、地域推進計画の概要版の作成と、エのパブリックコメントというところが主な項目になってございます。

5月、6月、7月ぐらいには特に何も線等は引いてはいないところにはなるんですけれども、もう既にエヌエス環境さんのほうで分析を進めていただいているところでございまして、こちらのロードマップの原案作成等についてはのしりの部分、最初の部分につきましては、

次回の7月に行う審議会から皆様に御協議してお諮りしたいと考えているところでございます。おおむね、こちらの会議の後半に目標値であったり指標の検討、将来推計であったり、ロードマップの原案を見ただいてという形で進めていきたいと思っております。

おおむね11月の下旬までには大枠ができている形にして、12月の中旬から1か月間、パブリックコメントで市民の方にも内容をお諮りしたいと考えております。こちらで回答案の作成の取りまとめをさせていただきますして、パブリックコメントや本審議会等での意見等を踏まえまして修正させていただいたものを、最終的には3月中旬にホームページ等で公表するというような形を取らせていただきます。

このほか、今回こちらの次第等には、スケジュールの中には入れていないんですけれども、今回エヌエス環境さんのほうから、子供向けのそういった概要版みたいなものを作成していただけるというような御提案をいただいております。そういったものも作成していただきたいと考えております。詳細につきましては、今回ではなく、次回以降で説明できればと思っておりますので、概要の説明だけにとどめさせていただきます。

次が、(仮称)気候市民会議の運営についてでございます。こちらも、昨年来から本審議会において気候市民会議の運営について御協議させていただいていたところでございます。実施の日程(案)につきましては、7月、8月、9月の3回を予定しております。こちらにつきましても、今回、会の資料の4のところの詳細の説明ができればと思っております。こちらは3回実施するところになるんですけれども、実施後に本審議会では報告と、実施前にお諮りをしてというような形で進めていければと思っております。

各回ごとに、ウのところ「会議録・映像記録の作成」というところがあるんですけれども、映像も交えてホームページ等で公表を予定しておりますので、そういったところで、おおむね会終了後の3週間後をめどにホームページ等での公開を予定しておりますので、こちらの審議会でもその報告をしたいと思っております。

最終的には、オに書いてございます「報告書の作成」というところを、9月に終わった後、10月から12月までに作成していただきま

して、12月中旬の完成というところを想定してございます。

また、こちらに記載はないんですけれども、11月中旬に小金井市環境フォーラムというものがございます。そちらの環境フォーラムでも、こちらの気候市民会議を運営したというところは報告できればと考えております。

また、こちらも記載はないんですけれども、10月15日号に環境特集号という形で、市報に大きく記事を掲載する予定となっております。

おおむね概要的なところの説明にはなるんですけれども、資料1の説明につきましては以上となります。

私のほうからは以上です。

椿副会長

ありがとうございました。

それでは、ただいま御説明いただいた内容に関しまして、御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

高野さん、今は、資料1と資料2の中身と、今、お話があったことについてでよろしいですか。

高野係長

そうですね。

椿副会長

いかがでしょうか。

田頭委員、お願いします。

田頭委員

御説明ありがとうございます。まずは、第2次地球温暖化対策地域推進計画の中間見直しなんですけど、このスケジュールでいくと、審議会等では、ロードマップの作成の途中でも、7月の審議会で中身を見せていただくというか、検討する、議論する時間がある、機会があるということなんですよね。

高野係長

そうです。

田頭委員

それを踏まえてというか、それを経過で見て、概要版の原案ができる。それからパブリックコメントにかける、会議でもということなのかと思うんですが、この中で、子どもたちの意見を聞くような機会というのは何か設けられるのかなということをお聞きしたいと思います。この地球温暖化対策という中では、小金井が出した気候非常事態宣言に対しては、小金井の特徴は、やはり子供たちと一緒にやっていくんだということをおうたっていて、それが小金井市の大きな特徴であるわ

けですから、この問題に対してやっぱり子供の意見を聞くとか、気候変動、本当に子供たちに一番大きく影響するところですよ。

国のほうも、子供に関係することは子供の意見を聞いて反映させなければいけないということが、もうこども基本法でうたわれているわけです、マストになっているわけです。ですから、ちょっとそこが見えるようにしたほうがいいのかなど。多分、小金井市はお考えとしては持っているとは思いますが、それもこのスケジュールの中でも、どこか見えるようにしたほうがいいのかなど思いました。それについてはいかがでしょうかということですね。

高野係長

御意見どうもありがとうございます。子供向けの概要版を作成しようとは思っていたので、今回御意見いただいたことを踏まえて、子供の意見の聴取の仕方は検討したいと考えております。

今、子供たちに向けて、各種のチラシ等も電子データで配信できる形となっていて、本当に保護者の方からもすぐデータで見ることができて助かっているというような声が聞こえております。チラシで配布しても、実際、子供たちが保護者に渡さないとランドセルの中で止まって見られなかったものが、保護者の方にダイレクトで行くので、見ましたという声もいただいております。学校側としてもチラシを配布する手間がなくなり楽になる、かつ、全保護者に知らせることができそうですので、事業等はそういった形を取っているのも、何か子供に御意見をいただく場合も、お子様はデジタルに多分強い世代だとは思っているので、そういった何か電子データのチラシを配布して、フォームで回答というもので簡単にできるのかなと思っています。そういったところも1つ検討として上げさせていただければと思っています。

あと、子供向けに市でも環境教育等を実施しておりますので、そういった事業の中でも、参加者は限定されますが、何か事業のアンケートと併せて、こういった別のアンケートや、こういった計画を今、つくっていますというのを知っていただくというの必要なのかなと思います。後ほど田山から御説明いたします森林教育を今年も実施いたしますし、子供向けの子ども環境ワークショップや、地下水保全会議の先生にご協力いただいている「地下水を学ぶ」という環境講座、野川フィールドワークなど、様々な子供が参加するイベントがありますの

で、そういったところで何か意見を聴取できればいいかなと思っております。そこは事務局のほうで精査させていただければと思います。

以上です。

椿副会長

どうぞ。

田頭委員

とても詳しくて、また、前向きな内容の説明をいただいてありがとうございます。やっぱりそうなんだねというところが今日伺えてよかったと思います。

教育委員会との連携というか、協力関係をもっと強めるという形、意思を持っているということをは何か見える化するととてもいいのかな、やっぱり環境と教育ってつながっているよねという、小金井らしさが表れると思いますので、それは今、伺って、思いとして持ちました。

やはりSNSなど、データ化したものをオンラインで発信することは、本当におっしゃるとおりだと思います。とてもまたほかの分野でも参考になる情報をいただいたと思いますので、ありがとうございます。

ぜひ、せっかくの実施されていることを無駄にしない、そこで来た子供たちの意見は必ず聴取するという、そういった意気込みで実施していただければありがたく思いますので、以上です。よろしく願いいたします。

高野係長

ありがとうございます。

椿副会長

田頭委員、ありがとうございました。今のことについて、ほかの委員の方、何かございますか。

すいません、私から1点だけ。私もまさに今のお話を聞いていて、ぜひ推進していただきたいなと思ひまして、今、田頭委員のお話にもあったんですけど、小学校ではハチドリプロジェクトをやっているということもありますので、これ、学校の先生は本当にお忙しいということは重々承知しているんですが、教育長をはじめとする教育委員会、それから学校の先生方を巻き込むような、一緒に何かできるような形にできたらすごくいいんじゃないかなと思ひまして、子供向けに概要版を作ってくださいということもとてもいいと思います。ぜひ概要版についてもデータ配信できるような形で、まさに今、一人一人端末を持って授業でやっているという時代になりましたので、データで子供

たちが手元で見ながら何か作業も可能な形にさせていただけると、すごくありがたいなと思いました。

以上です。

ほかに御意見、御質問がございましたらお願いいたします。

橋本委員 これ、無作為抽出した方にアンケートをするときのやり方というんですか、郵送でしたか？それとも、何か電子データのこのアンケート用紙をホームページ上に上げて、それで答えてもらうとか、そのやり方について教えてもらえますか。

高野係長 そちらの郵送の仕方等については、また資料2と資料3のところでもアンケート調査については詳しく説明させていただきますので、そのときに御説明の後、またご意見をいただければと思います。

橋本委員 分かりました。

橋本副会長 ありがとうございます。では、また後ほどお願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。資料1についてはよろしいですか。スケジュールですね。大丈夫でしょうか。

では、特にないようでしたら、また後ほど御説明いただくこととも関わってくるかと思しますので、次のほうに進めさせていただければと思います。

では、続いて、小金井市環境基本計画中間評価についてということで、事務局から資料の御説明をお願いいたします。

高野係長 それでは、(2)の小金井市環境基本計画等中間評価について説明いたします。資料2と資料3と資料3の補足資料がございますので、そちらをお手元をお願いいたします。まず、資料2からになります。資料2につきましても、環境基本計画中間評価について、概要等を記載したものとなります。後ほど説明します資料3は、中間評価として実施するアンケート案となっております。こちらは、みどりの基本計画のアンケート調査と一緒に実施するものになるため、同一の内容を昨日、5月22日に実施した、環境政策課の緑と公園係で所管しております緑地保全対策審議会でも御審議いただいております。

それでは、資料2からです。一番上の概要のところです。環境基本計画中間評価につきましても、令和3年3月に策定いたしました環境基本計画において、こちらは令和3年4月1日から令和13年3月3

1日までの10年間の計画なんですけれども、こちらを、おおむね5年間を区切りとして計画の評価と検証を行うとともに、計画を取り巻く環境の変化に伴う中間見直しのために実施するものとなってございます。

こちらは毎年、庁内で実施している環境基本計画の実施計画である環境保全実施計画というものの進行管理とは別に、市民アンケートとして、現行の基本計画の施策の認知度であったり、環境保全行動の実践度についての実態を把握するものとなってございまして、対象としましては、無作為抽出で18歳以上の市民3,000人を対象として実施するものとなっております。

アンケート案につきましては、第3次環境基本計画策定に向けて実施した市民アンケート調査、こちらは令和元年9月に実施しているんですけれども、そちらの調査項目をベースとして作成してございまして、環境基本計画において5年間に1回をめぐり把握するとしている「みどりの豊かさ」であったり「生物多様性の認知度」等の調査のほか、新規設問を設けるほか、アンケート調査の回答率を上げるためにコラム欄のようなものを設けてございます。

続いて、一番下の2の主なスケジュールについてです。本日これから審議していただく内容をアンケート案に反映させるとともに、事前に案内しておりますとおり、審議会終了後の5月27日までにメールにて御連絡いただく分も追加の御意見として加えさせていただきたいと考えております。

その後、内部で協議させていただきまして、3番にございますアンケート内容の確定を6月上旬にいたしまして、反映後の最終案を環境審議会と緑地保全対策審議会の正副会長に御確認いただきまして、最終案として確定したいと思っております。

アンケートの発送は、(4)にありますとおり、6月中旬の発送を想定しております、回答期日を2週間程度と考えております。

なお、アンケート案の修正は、印刷であったり搬送のスケジュールがあることから、タイトなスケジュールとなって大変恐縮ではございますが、何とぞ御了解いただければと思っております。

また、無作為抽出で18歳以上の市民3,000人ということでお話し

しさせていただいたところで、この資料の中には、外国人80名程度を含むということで書いているんですけども、昨日の緑地保全対策審議会において、この外国人80人の根拠は何なんですかというのを御質問いただいたところです。

こちらの80人の根拠なんですけれども、前回アンケート調査実施時の人数をベースにしたものとなっております、全人口に占める外国籍の方の割合が、前回の調査時では2.7%であったことから、3,000人の2.7%程度の80人というふうにしたところでありまして、今回も同じ人数で踏襲しようかなとは考えていたところですが、外国人の方の市民全人口に占める割合が増えておりまして、計算したところ、約3%という形で増えておりましたので、3,000人のうち3%に当たる90人という形に変更したいと思っております。資料については80人というふうには書いているんですけども、こちらを今、全人口に占める3%である90人に変更したいと考えているところでございます。

続きまして、資料3を御覧ください。こちらは、環境基本計画中間評価のための市民アンケート案となっております。事前にお送りしているものから若干変更にはなっているところでございます。

例えば冒頭のところで、1ページ目のところで、別の環境、緑地保全対策審議会の委員さんのほうから、事前に市長の顔写真であったり、市長の直筆のサイン等があったほうが市全体として盛り上げてやっているんだという形でアンケートの回答率が上がるんじゃないかという御指摘がございましたので、最初に市長の顔写真と直筆の署名をしていただいたもので発送したいと考えているところです。

こちらが、現行の各計画策定に当たりまして実施したアンケートを基に、本日も審議会に同席していただいておりますエヌエス環境様に依頼させていただきまして作成したアンケート案となっております。

前回のアンケートとの違いとしましては、アンケート項目について、環境基本計画に係る回答設問とみどりの基本計画に係る回答設問と2つの計画に分かれて、2つの計画のものを1つの封筒の中に同封して送付していたんですけども、そうすると全体が長くなってしまい回答者である市民に分かりにくくて、面倒になってしまうというような

御意見等がございましたので、1つのアンケート調査として共通している部分の設問をまとめたり、5年以上たっておりますので、時代に合わなくなった記載もあったり、新しく追加した施策等もありますので、そういったところを直して、資料としてまとめたものとなっております。

資料3の1ページ目のところで、冒頭で市長の顔写真と直筆のものを入れていただいたところでございます。

重複を避けるために、物自体は紙で郵送するんです。回答は、返信用封筒で投函していただくのが1つ、あと、添付します二次元コードからインターネットで回答していただくという、2パターンを用意させていただきました。2つの回答方法にすることで、重複を避けるために、IDを作成し、二次元コードから回答する場合は、御自身のIDを入力していただいて回答するという形で、重複の回答を防ぐ手法を取らせていただいております。

2ページ目を御覧ください。2ページ目につきまして、性別のところは、今までは男性・女性という2択ではあったんですけども、最近のジェンダーという観点で、そういった性別を設ける欄がよく3番でその他という欄を設けてございますので、今回からは男性・女性だけではなくて、その他という欄を設けております。

住所につきましては、事前にお送りしていたものは何丁目まではなかったんですけども、今回御審議するものでは、地域ごとの統計処理も必要だということもありますので、何丁目まで今回入力をさせていただく形にしてございます。

一番最初の「身近な環境の満足度について」というところでございます。身近な環境の満足度につきましては、前回の計画策定時とほぼ同じような内容となっております。その中から、「6年前に比べてどうでしたか」というような質問が前回があったんですけども、五、六年前と比べてどうだったかという、満足しているかというところが感覚的にあんまりよく分からないなということもあったので、現在満足しているかどうかというだけの設問とさせていただきました。

また、前回、この身近な環境の満足度の中で、農地と土の親しみやすさであったり、緑の豊かさであったり、緑に関する設問があったん

ですけれども、こちらの緑に関する設問を何種類か別の項目のところに移動しております。一番下にクイズみたいな形で、設問に飽きさせないような形でクイズみたいな形を取っております。

続きまして、3ページを御覧ください。3ページが「日常生活における環境に関する取組状況」についてになってございます。この設問につきましては、前回の計画よりも大きく変更してございます。前回の計画策定時に小金井市環境行動指針というものを策定しておりました、その中に市民チェックシートというものを作成してございました。ただ、この環境行動指針というのをつくってはいたものの、この市民チェックシート等を使って何かを、統計を図るということを今までしていなかったもので、せっかくの機会ですので、この環境行動指針というものの市民チェックシートの項目に沿ったものを主な設問としてございます。

続いて、4ページを御覧ください。4ページも一部変更しているところではございますが、例えば7番の断熱窓であったり、遮熱塗装につきましては、令和3年度、令和6年度に新規メニューで補助金で追加しているものとなっておりますので、そういったものを加えたりしてございます。その下にコラム欄みたいなものを設けております。

続きまして、5ページを御覧ください。5ページの一番上の環境保全への参加状況等につきましては、前回の計画をそのまま踏襲した形になってございますので、5年経過してどのぐらいの回答が変化があるのかというところを経年で見たいと思っております。

5ページの下(2)のところでございます。こちらにつきましては、計画・施策について、前回のアンケート実施時には、環境基本計画だけを知っているか・知っていないかというような聞き方をしていたんですけれども、みどりの基本計画、地球温暖化対策地域推進計画と、あと気候非常事態宣言、令和4年1月に発出しておりますので、こちらの認知度というものを調査したいと考えておりますので、それを加えてございます。

他に一部変更しているところがあるんですけれども、それは資料3の補足資料としてお配りしているところ、対照表を書いておりますので、そちらを御確認いただければと思います。

続きまして、資料の6ページになってございます。一番上が各施策についてを簡単に説明したものとなっております、下に行きまして、4の「環境に関する情報提供について」は、順番等を入れ替えているところはあるんですけども、前回のものをほぼ踏襲している形になっております。

続きまして、7ページの5番「今後、重視すべき取組について」というところでございます。こちらについては、前回25項目あったところを、20項目という形で少し数を減らしております。25項目だと数が多くて回答しづらいかなというところがあったのと、あと、取組の順番を少し一部変更しております。

6番の小金井の「みらい」についてというところにつきましては、前回計画策定時のところを踏襲してございます。

7ページの一番下にコラム欄を設けて、ここで少し飽きた人にブレイクしてもらおうと考えております。

次の8ページ目のところで、こちらが7番「環境保全に関する用語の認知度」というところで、こちらが関連審議の項目になってございます。こちらは市の施策ではなく、国であったり、全体的な施策のことになるんですけども、その用語を知っているかというところの調査も含めて、この調査を回答することによってその用語を知っていただくというところもありますので、こういったところでの調査を、簡単な調査ではあるんですけども、実施しているところです。

9ページのところで、「小金井市のみどりについて」というところが主なところになってございます。こちらは緑に関することの調査になりますので、設問の説明につきましては割愛させていただきます。

最後、10ページのところでございます。こちらが新しい設問になってございます。「気候変動対策について」というところも、日本が温室効果ガス排出が46%というところと、市の施策として26%を挙げているというところを知ってほしいというところもありますので、そういった設問を設けてございます。

コラムの下にあります(2)のところで、小金井市の現状の温室効果ガス排出削減目標と、それをこれから中間計画、中間見直しで変更したいと考えているところなんですけれども、アンケート調査の中で

も市民の皆様がどういうふうに考えているのかというのを知りたいために、市としての目標数値を国と同程度の目標に掲げるべきであるかであったり、国以上の目標掲げるべきであるかということを知りたいと思ってございます。3番目に「国よりも低い目標でよい」というような書き方になっているんですけども、低い目標でいいというふうな書き方だと、何かネガティブなふうなイメージに取られかねないというような御意見をいただいておりますので、こちらにつきましては、ちょっと記載の内容を、今、市が持っている26%削減、市の現状でよいというような設問に変更したいと考えております。

続きまして、11ページです。11ページの一番上の(4)の「気候変動の影響への「適応」について、小金井市内で既に影響が大きく、重点的に対策すべきものは何ですか」というような設問を新たに設けてございます。

こちらが、昨日の緑地保全対策審議会において、設問にどう答えればいいのか分かりづらいというような御意見をいただきまして、小金井市内でも影響が大きいものを答えればいいのか、それとも自分たち、私たちが重点的に対策すべきものを答えればいいのか、そこら辺がちょっと質問が分かりづらいというような御意見をいただきましたので、少しこの内容については精査したいと考えております。

続きまして、最後の12ページです。こちらが最後のページで、東京都が行っている「燃費の良い住宅」のことを知りたいと思ってございます。実際にこれは、皆様が家に住んでいて、家で断熱が高いことであったり、太陽光発電の設備についてということを知っていただきたいというような目的もありましたので、こういった設問を設けて、最後にコラムを設けて、最終的に市の環境施策について自由記述欄を設けさせていただいて、アンケート終了という形で終わってございます。

大体、基本的には選択肢が多いので、そんなに時間はかからないのかなと思うんですけども、コラム欄を見ながら設問に回答していただくと、5分から最大10分ぐらいはかかるのかなと。10分ぐらいであれば皆様回答していただけるのかなと思っておりますし、前回の回答率も3割程度と、かなり多くの回答率がありましたので、その

ぐらいの回答率を目指して今回のアンケート調査を作成しております。

昨日の緑地保全対策審議会の御意見は、「コラム」というふうな書き方をしているところが何か所かあるんですけども、コラムだと何か少し分かりづらいというような御意見がありましたので、あと、アルファベットで何かMEMOみたいな形であると、設問するところではないかなというのが分かりやすいんじゃないかという御意見があったので、何かそういったアルファベットでMEMOにしたり、もう少し囲いの仕方を工夫したりという形で、アンケートとはまた違うよというところは分けたいと考えているところです。

長くなってしまいましたが、アンケート調査につきましては、私のほうからは以上です。

樫副会長

ありがとうございます。では、今、御説明をいただきました資料2と資料3、それから資料3は補足資料のほうもございますけれども、主にアンケートに関して御質問、御意見がございましたらお願いいたします。

資料のほうでは、資料2の対象というところの外国人の人数を今、80名というふうに書かれていましたが、90名に変更したいという御提案でよろしいですね。

高野係長

そうです。

樫副会長

分かりました。アンケートのほうも、前回並びに今回は環境・みどり両方を組み込んだ内容にされるということと、昨日の議論を踏まえて少し表現等を変更される可能性があるというお話もございました。では、いかがでしょうか。

中里委員、お願いします。

中里委員

今の外国人の選出に関して、今、全体の人口の3%になっていて、それで決めるということなんですが、その90名というのは全員ではないですね。

高野係長

無作為で。

中里委員

無作為で、やはり同じ条件で拾っていくということですか。

高野係長

そうです。

中里委員

分かりました。

それから、幾つか文言の修正的によろしいですか。この場でよろし

いですか。

高野係長 はい、大丈夫です。

中里委員 資料3で、私が勉強不足なのかもしれないんですが、まず、市長の御挨拶文で、「みどり行政」という言葉はあるんですか。

樫副会長 1行目ですね。

中里委員 ええ、1行目。それから、この1行目は「本市」の環境というふう
に載っているんですが、3行目では「市では」となっているんですが、
これを分けている理由というのはある？ そういう意味では結構いろ
いろ出てきているんですが、気になったところで、対象としても、1
8歳以上の方で、また3,000人以上の方、これ、「の方で」は要ら
ないですよ。「18歳以上で無作為抽出した3,000人の方」でよ
ろしいかと思うんですが、そういう文言は……。この場でないほうが
よろしいですか。

高野係長 でも、いただけると……。

中里委員 よろしいですか。

高野係長 ええ。

中里委員 その辺りを、じゃあここまでの……。

高野係長 そうですね。

確かに「18歳以上の方で3,000人の方」だと方、方になってしま
うので、確かにそういったところはありますね。

みどり行政についてというようなお話だったんですけど、環境行政
というのはよく話をするんですけども、みどりに関しての行政もも
ちろん実施しているので、もし何か、市としてはそういったみどりに
関する行政も行っているのか、かかる部分はなかったんですけど、多
分一般からは、見たときに「何？」とってしまうところがあるとい
うような御意見だと思うので、ここについてはもう一度精査させてい
ただきます。

「本市」の環境であったり、「市では」というような表現の仕方とい
うところもあるという話もありましたので、もしそういった、細かい
ところになると、また、内容のところでないところであれば、別途で
いただけると、こちらとしてもよろしいかなと思いますので。ありが
とうございます。

椿副会長 中里委員、よろしいですか。

中里委員 はい。

椿副会長 ありがとうございます。続きがおありになりますか。

中里委員 細かなことになりますけれども、アンケートの質問の文字の並びとか、天付きが合っていないなかったりしますよね。これをこのままもう出されるのであれば、例えばですけれども、2ページと3ページ目の数字の並び、3ページのほうは、2桁になったときにも、1からこちらにずれています。何かポイントが違うのかな。場所が違ってきますよね。

高野係長 何かちょっと、そうですね。何となくおっしゃることは。

中里委員 それから7ページ目の下の「3Rの取組」というのが6で出てまいりますけれども、これ、私たちは割と身近に感じている言葉かと思うんですが、まず、質問をしている時点では分からない方もあるかと思うんです。後ろに説明が出てくるんですが、後半に、こういう場合はやはりこの時点で、米印か何かでどこに説明があるとかいうことを記載していただかないと、どうしてもここを省いた段階でのその5つを選んでしまうという可能性があるかと思うんです。

そういう意味で、前回のもを見ますと、前回のものの方が割と近くに説明が施されているんです。回答するに見合うものが出てくるんですが、今回、しかもアンケートが割と、五、六分程度だとおっしゃいましたけれども、私、これ、説明を読んでしっかり答えるには、かなり時間がかかると思いまして、普通の一般的な人であれば、しっかり答えようとすればするほど時間を要して、アンケートとしてはかなり煩雑なような気がするんです。これで3割の回答率が維持できるのかどうかちょっと不安になりましたので、今さら変えることはできないのかもしれないんですが……。

もう1つ、よろしいですか。

椿副会長 はい。

中里委員 質問なんです、11ページの4)のアンケートなんです、9番に「コメの品質や収量の低下」とありますが、小金井市が、稲作はたしか一時期中止になったと思うんですが、それがすごく頭にあるんですが、今また作り出しているにしても、それは気候変動のアンケートに

入れるほど、米の品質について皆様はなじみのある案件なのかなとちょっと感じました。

取りあえず、以上です。

椿副会長 ありがとうございます。市民の方が見るアンケートなので、細かいところを含めて御指摘いただき、ありがとうございました。

では、事務局のほうからお願いいたします。

高野係長 分かりました。細かいところ、3Rのところは後半から、その次のページに3RとRenewableというところがあるんですけども、3Rの説明自体がないというところは、確かにそのとおりかと思imasので、そのこのところ、3Rというところを、まだ下にあるので米印で書ける形にしたいと思imas。

多分、数字が少しずれているように見えるところがあるということで、そこがそろえられるようにできればということで、御意見として頂戴いたします。

11ページの一番上のところの気候変動への適応についてというところは、冒頭でお話ししたとおり、ちょっと中身については分かりづらい部分があるかなと思imasので、米の品質のところを何を答えるのというところがあるかなと思imasので、そのこのところも含めてもう一度精査させていただければと思imas。

以上です。

椿副会長 ありがとうございます。

では、ほかの委員の方はいかがでしょうか。

橋本委員 無作為という用語がよく使われていると思うんですが、今、ネットでもそうだと思うんですけども、調査票をまとめるときに、3,000人の無作為から回答が何人あって、1,000人になって、性別があるんだから多分、男性何名、女性何名、それから年齢として20代何名とか、最初の回答の内容に入る前にそういうような説明がされるんだろうと思うんです。そうしたときに、無作為でやったときに、例えば意図的にやりますと、男性だけが多くなって女性が少ないとか、何か30代に当てられた、無作為に抽出されたとか、というようなバランスというか、アンバランスというか、そういうものを生じないものなのかなと思って。ですから、逆に男性の150人と女性の150人

から無作為とか、何か若干意図的なものを入れないとうまくばらけないんじゃないかなという、ちょっとそういう不安がありました。

椿副会長 ありがとうございます。では、事務局、お願いいたします。

高野係長 基本的に無作為になるので、人口の中、うまくバランスが取れた形での抽出になるので、例えば気候市民会議の無作為については、この審議会において若者世代の方を中心に行いたいというお話をさせていただいたので、16歳から39歳までの方が8割で、40歳以上の方を2割で無作為抽出しているという話をさせていただいたんですけども、今回の無作為につきましては完全にランダムではあるんですが、それが人口の年齢層も平均、それぞれがどこかに偏るような形での抽出ではなくなっていますので……。

岩佐課長 実態に即したパーセンテージでお送りするような形になると思います。

高野係長 そうですね。

椿副会長 ああ。じゃあ例えば市内のそれぞれの割合に応じて、抽出の仕方を、数を変えるということですか。

岩佐課長 そうなると思います。

椿副会長 完全な無作為ではなくということですか。

高野係長 そうです。ではなく、何町の人が何割とか、一応細かくデータではあるんですけども、ちょっとお見せできないんですが、どこかのまちの人が多とかであったり、どこかの世代の人が多くなったりという形ではなく、本当に分布図にすれば均衡になるような形での無作為になっていますので。

椿副会長 性別もですか。

高野係長 性別もそうです。男性が多いとか女性が多いとかいう形ではない形での抽出にはなっているので、分布にしまえば分かるんですけども、本当に偏りが無い形での抽出にはなっております。

橋本委員 それならいいと思うんですけどもね。

岩佐課長 その年代とかによって返してくれる割合は違ってくるかと思えますけれども、こちらからお送りする割合としては、各年代とか男女比とか町別とか、そういったものに応じてお送りさせていただく予定です。

椿副会長 分かりました。今の点でちょっと確認なんですけども、そうします

とアンケートでいうと1枚目裏、2枚目の属性に関する性別、年齢、住所というところについては、今、御説明いただいたとおり、人口比に応じて抽出するという理解でよろしいということですね。

高野係長

そうですね。

樫副会長

居住年数と住宅形態は加味しない……。

高野係長

加味しないです。

樫副会長

そうですね。確かに無作為抽出って完全なる無作為だと思っていましたけど。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

お願いいたします。

和田委員

アンケートを作成いただいて本当にありがとうございます。中身を見せていただいて、私は個人的には非常にうまく設計された、よくできたアンケートだなと見合わせていただいていたという認識でいます。

基本的にこれ、目的が次の環境基本計画ですとか、地球温暖化対策推進計画の見直しの根拠としていくというふうに位置づけられていると思いますので、要はこのアンケート結果を見て、今、5年前に策定いただいた計画が、あ、ここは見直さなきゃいけないねということをつくい取れるかどうかということに尽きると思うんです。なので、いろんな統計的な処理はされると思うんですけど、個人的には非常にどういう結果が出てくるのか楽しみにしています。

特に、見直しの根拠ということでいくと、多分5年前に策定された計画で、小金井市様のほうで何かこういう市民の行動の変化を促したいであるとか、何かその狙いがあったかと思います。それが5年間たっていて、この結果を見て、何かこの結果、例えば書いてあるようにベランダで除草剤の使用は控えるだとか、地元のものを買うだとか、こういう一つ一つの設問は、恐らく当初小金井市さんが狙っていた何か計画の1つなんじゃないかなと勝手に考えているんですけど、この結果を見て、実際にそういう、当初思い描いていた計画が何か達成できたのかということをつくい取る意味で、非常によくできたアンケートかなと思っています。

一方で、もう1個何か課題を拾うということも必要になるかなと思っています。今、環境という観点でいくと、今は逆風の世の中にな

ってしまして、御存じのとおり、アメリカの政権交代だったりとか、ヨーロッパもいろいろオムニバス法案とか、今までやってきた環境の行政というのを延期するだとか、内容を緩和するだとか、そういう流れになっています。日本も今、米の値上がりであったり、非常に実質賃金として上がっていないとか、経済的に実は厳しい状況ですよ。なので、環境に対しては、今、一時的には非常に意識というのは、個人的にはですけど、厳しい状況なんじゃないかなと思っています。

逆に言うと、今回のアンケートの結果で、非常に、例えば望ましくない結果が出ましたよということであっても、それはそういう大きな流れの1つの変化をきちっとすくっているというふうな位置づけとも取れると思いますので、そういったところも含めて、きちっと現状を5年前と比べてみて把握していくということが大事なんじゃないかなと思います。

なので、とにかくどこのポイントから見直すべきかというところを拾い上げるということが一番大事だと思いますので、そのところを引き続き一緒に解析していければと思いますので、よろしく願います。

高野係長 ありがとうございます。

椿副会長 ありがとうございました。とても前向きな、今後に向けた御意見をいただき、ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。田頭委員、お願いします。

田頭委員 こちらのアンケートなのですが、前回、5年たって、また改めてのアンケートなので、やはり今日的課題というものを強く意識できるようなもののほうがいいのかなとはちょっと思いました。

そういう観点で、全部まだ細かいのはチェックし切れていないので、その後必要なところは、またメールなどで御意見させていただこうと思います。まず、最初の2ページのところで、満足度の10番です。「地球環境に配慮した取組み（CO₂削減等）」とありますが、ここはまず1つ、取組というのが身近な住まいの地域の環境に関してということなので、これが市の取組で満足しているのか、あるいは市民全体、市民も含めた市や市民の取組というのか、何かそこがどっちなのかなというところで、ちょっともやっと思いましたので、もう少しここが明

確になるといいのかなと思っているのが1つ。

それから、地球環境に配慮したCO₂削減等なんですが、やはり異常気象による環境の変化というところが大きいので、その部分はここに入っているのかどうかというところもちょっと分かりにくいと思いましたが、そこを何か文言としてどこかに入れたものはないでしょうか、と思います。

それからあと、3番目の項目では、これは環境行動指針に沿った内容でということなので、そういうことなんだなどは、それは大事なことだなと思っています。

5番目のこれ、「洗剤は極力石けんを使い」というのは、行動指針そのままの文言ですが、やはり最近、近年は、この石けんによって、合成洗剤によっての香りの害、主に柔軟剤等を含める香りの害なんですけれども、その問題も出てきていて、小金井市も「香りのマナー」ということでポスターを作っています。そこを考えると、「石けんを使い」の次に、「柔軟剤や合成洗剤を必要以上に使わない」というふうに、行動指針の同じ文言ではないんですけれども、含めることはできないかなと考えますが、いかがでしょうか。

それから、あと16番の「プラごみ削減のため、プラスチックのスプーンやストローは使わないようにする」というところも、おうちにたまたまあると使ってしまうということもあるかと思うので、これは買わないようにするということが、行動としては、アクションとしては、あ、買わない、これ以上は買わない、増やさない、で、ごみにしないというふうに、その意識を持っているかどうかというところは確認できると思いますので、「買わない」というふうにするのはどうでしょうかと思いました。

現段階では以上です。

高野係長

ありがとうございます。一番最初に御指摘いただきました、2ページの10番の「地球環境に配慮した取組み（CO₂削減等）」、確かにおっしゃるとおり、市の取組に対するものなのか、市民としての取組のことで自分がやっていることに対してであったり、周りの人につながっていることに対してなのか、分かりづらい部分があるかなと。少しここを精査させていただければと思います。

2 点目にいただいた、異常気象がというところについては、ごめんなさい、私がかうまく理解できていなくて、11 番にある「気候変動による豪雨等の」というところとは係らないでということですか。どういったところに変更したほうがいいのか、もし具体的にあるといいかなと思うんです。もし27日までにこういった対案といいますか、いただけると非常に助かるので。すいません、ありがとうございます。

3 ページのところ、5 番のところは指針のところをそのまま使わせていただいたので、柔軟剤を入れるかというところは少し精査させていただきたいのと、16 番が関連新規項目にはなるので、使わないというよりもよりよい、買わないようにするというような形のほうがいいというような御意見をいただいたので、ここも精査させていただければと思います。

そのほか、もしあれば併せて、特にフォームはないので、ちょっと短いですが、27日までにいただければと思います。

椿副会長
田頭委員

どうぞ。

ありがとうございます。異常気象については、気候変動、私もそこでどうかなと思ったんですけれども、これは豪雨等の災害からの、災害の観点が一番なのかなと思ったので、異常気象は、例えばそれを削減する緩和策としては、緑陰を守るとか、緑陰を残すとか増やすとかいうこともあろうかと思いましたが、それはどこに入る、どういう表現をするのかなということが1つの問題点で、問題意識で持っています。なので、そこがほかの設問のところに入っていれば、それはそれでいいのかなと思うので、またメール等でその辺については書かせていただきますので、よろしくお願ひします。

高野係長
岩佐課長

分かりました。

御意見のほう、ありがとうございます。3 ページのところは、環境行動指針のチェックシートを参考に作らせていただいています、16 番のストローを使わない、買わないの議論があったと思うんですけど、家であれば買わないですけど、外食店とかはよくプラスチックのものにしますかとか、紙にしますかとか、それ自体要らないですかとか、その選択肢が最近も話題になっているかなと思いますので、そこら辺も踏まえて検討させていただければかなと思います。ありがとうございます

ざいます。

椿副会長 ありがとうございます。

田頭委員 ありがとうございます。

高野係長 「使わない（買わない）ようにする」とかにすれば……。

椿副会長 そう。両方入れればね。

高野係長 両方記載しようかなと思ったので。何か両方うまく残していければいいかなと。

田頭委員 両方あると思いますので。使わないようにしているし、だけど、買うことをしないわというのを強く思っているとかね、あると思いますので。

椿副会長 ありがとうございます。

すいません、私から2点ぐらいお願いします。1つは、今、文言の細かいところは後でお送りすることにいたします。

若干内容に関わることで、3ページ目、大きな2番の選択肢の1なんですけど、これ、「木や草花を育て」というところと「除草剤の使用は控える」という、何となく2つとも聞かれているので、育てているんだけど除草剤を使っている人・使っていない人ということで想定されると、ちょっと答えにくいなという感じがいたしました。

それから、あとは、これはちょっと細かいんですけど、6ページ目の説明の下、3)の参加したことがない、あるいは利用したことがないと回答した設問がある方は、その理由はというところで、これ、その前にある1)、2)で多岐にわたっていろいろ並べてくださっているので、細かく言うと、知っているけど時間的に余裕がなかったら行かないものもあるし、興味がないものもあるしということになってしまうのかなと思うんですが、一々全部について聞くことはできないので、例えばなんですけど、主な理由は何ですかと、「主な」を入れると、若干何となく答えやすいかなというふうに個人的には感じました。ちょっと言葉のあやみたいですけども。

それから、最後なんですけど、高野さん御自身おっしゃってくださいなんですが、11ページの4)の「適応」についてというのは、確かに何を答えればいいのかというふうに私も思いまして、さらに、先ほど中里委員がおっしゃってくださいました適応、「緩和」と「適応」につい

での説明がその下に来るので、適応とは環境に備えること、気候変動の影響に備えることを適応と言っているんだということが分からないと、やっぱりこの設問の意味自体も取りにくいなと思いましたので、ここも工夫いただけるとありがたいなと思いました。

以上です。

では、皆様、アンケートについてはほかにいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。よろしいですか。

では、ほかにも、今、御発言いただけていないことがございましたら、5月の……。

高野係長

27日の土曜日ですね。

椿副会長

までに環境政策課のほうにお送りすれば……。

高野係長

メールでいただければと。

椿副会長

皆さん、よろしく願いいたします。

では、次に参りたいと思います。議題の3番目です。(仮称)小金井市気候市民会議の企画概要についてということで、では、事務局から御説明をお願いいたします。

高野係長

資料4の(仮称)小金井市気候市民会議の企画概要についてを御覧ください。

こちらは昨年度からお話しさせていただいておりますので、詳しい内容については割愛させていただき、目的等については割愛させていただきます。

参加人数については、市民20人から30人程度を想定してございまして、昨年度に2回無作為で抽出した方の中から参加を希望される方と、あと今年も、来週に無作為抽出で1,500人に対して案内を発送する予定です。その中で希望する方で参加、会議を開催したいと考えております。

実施概要につきましては、会議形式を3回とフィールドワークを2か所実施、こちらはフィールドワークというのが新たな試みとして今回御提案させていただいております。こちらがエヌエス環境さんのほうから御提案いただいたものになってございまして、後ほど説明いたします。

第1回の気候市民会議が、日にちは書いていないんですけど、7月

6日の日曜日、テーマとしましては「気候変動について理解を深めよう」ということになってございます。

各回共通で、グループに分かれて、再エネ・省エネであったり、まちづくりであったり、環境教育であったりというようなそれぞれのテーマを分かれて議論をしていただいて、ワールドカフェ形式で、1つのテーブルだけにはいないで、いろんなテーブルを回ってそれぞれの意見を出し合うというような形を取るということになってございます。

2回目、2つ目のところでフィールドワークを実施する予定です。フィールドワークは日付が7月12日を想定してございまして、メタウォーターサステナブルパークこがねいと環境楽習館・滄浪泉園を巡るフィールドワークを実施する予定でございます。資源循環であったり、環境啓発の施設を回ることで、触れていただきたいということと、フィールドワークに参加することで、会議とは別に参加者同士の距離が近くなるということも目的の1つとしてありますので、多分全員は参加しないのかなとは思いますが、参加を希望される方にこちらのフィールドワークには参加していただきたいと考えております。

第2回の気候市民会議、こちらは日付はないんですけど、8月2日土曜日、「暮らしの脱炭素について考えよう」。

第3回は9月6日、「小金井市への政策提言をとりまとめよう」という形で、全3回の実施を想定してございます。

ページをめくっていただきまして、2ページ目に全体のフロー図とになってございます。こちらにつきましても、説明につきましても、詳細につきましてもは割愛させていただきます。

次のページ、3ページ以降が各回の企画案になっております。第1回目のところでは、2の開催日時・スケジュールにありますとおり、最初に小金井市長の白井から開会宣言をさせていただきます。講義、こちらの講義は法政大学の名誉教授であります田中充先生に気候変動問題の現状等について御説明、市民の方向けではありますので、かみ砕いて御説明をいただくということを想定してございます。

続いて、3番目の情報提供としましては、小金井市の現状であったり、小金井市が発出している気候非常事態宣言等であったりということ、想定としては環境政策課長から情報提供したいと考えておりま

す。そういった講義等を踏まえて、自己紹介とグループワークを実施するというような流れになってございます。

第2回目以降が、2回目も講師を選定する予定ではあるんですけども、まだこちらについては、今、選定中となっております。

各回の詳細については、今回は特に説明はしないでという形にしたいと思いますので、もう1回、直前にはなるんですけども、次の審議会が7月1日で、第1回目の気候市民会議が7月6日にはなるので、次の審議会のところで第1回目の詳細、もう少し、こんなことを実施しますということで、具体のスケジュール等をお話しできればと思っています。

細かいところにつきましては説明を割愛させていただきますので、私のほうからは以上です。

椿副会長

ありがとうございました。では、ただいまの御説明に関しまして、御質問、御意見をお願いいたします。

お願いします。

田頭委員

この参加人数の20人～30人程度を想定というところに、前回からも出ていたんですけども、若い世代の声を聞いていくことが大事だということでもありますので、その若い世代に特化した、参加しやすいような何か想定とか、何か工夫があれば、あるのかどうかということをお教えいただきたいと思います。

椿副会長

お願いいたします。

高野係長

当審議会でも若い世代の声をというようなお話をいただいております。当初は18歳以上の形で想定していたんですけども、高校生に当たる16歳以上の方に無作為抽出を実施するというので、昨年度から実施しております。

ほかの自治体で行っている無作為抽出は、ミニ自治体になるような構成比みたいな形を想定して実施しているんですけども、小金井市の場合は、そういった若い世代の声を聞きたいというような声が大きかったというところもありましたので、先ほどのアンケート調査の無作為抽出とはちょっと異なる無作為抽出で、8割の方に16歳から39歳の方、2割を40歳以上の方、なので1,500人のうち1,200人を40歳未満の方、40歳以上の方300人に案内を郵送すると

いう形で実施しております。昨年度も同じようなやり方を実施しておりますので、それを踏襲させていただいております。

以上です。

田頭委員 分かりました。ありがとうございます。

椿副会長 ありがとうございます。今の確認なんですけど、さっきの無作為抽出のやり方なんですけど、40歳未満と40歳以上に分けていただき、40歳未満が1,200人、40歳以上の300人の方にまず発送してくださいと。

高野係長 はい。

椿副会長 分かりました。それらが、加味しているということですよ。

高野係長 そうです。なので、やはりどうしても、他市自治体で行っている気候市民会議等を見てもそうなんですけれども、なかなか若い世代の希望者が多くないというような実態がありますので、数は、8割・2割という結構極端な形にはなってしまうかもしれないんですが、実際には前回は150人、200人ベースで実施しているのであまり大きな比較はできないんですけれども、やっぱり若い世代の方の関心があまり大きくなかったかなというところがあるので、そういったところも加味して、そういった形で、特にこれからを担うといいますか、若い世代の方にも興味を持ってもらいたいというところで、少し小金井市は違う形で実施したいと考えております。

椿副会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

すいません、追加で教えてください。第1回目は田中先生、田中先生の、もし差し支えなければ御専門分野を教えてくださいということと、何時から何時、何時間ぐらいやられるかということも、分かっていたら教えてください。

以上です。

高野係長 時間は各回共通で、おおむね想定としましては1時半から4時半までの3時間で、中に休憩を挟みながらというのを想定しておりますので、そのぐらいやっぱり時間がないと、3回という期間でもあるので、そのぐらいボリュームは持たせてやりたいと思っております。

田中先生の御専門については……。

エヌエス環境 田中先生の御専門は環境法制学、政治関係のほうです。そちらを主に……。

椿副会長 環境行政？

エヌエス環境 行政です。法学、環境法ですとか、その辺りが御専門の方です。ただ、こういった自治体の環境審議会の審議員になっていたり、会長さんだったり、務められたりして、今、温暖化に関してはかなり精通されている方です。

あと、特に適応に関して……。

椿副会長 あ、さっきの適応。環境適応ですか。

エヌエス環境 気候変動の適応策に関してかなりの知見を有していらっしゃる先生でもあります。

椿副会長 ありがとうございます。分かりました。

ほかにいかがでしょうか。

お願いいたします。

和田委員 私の理解が追いついていなくて申し訳ないんですけども、グループワークのところが一番、参加者の方からすると面白いだろうと思うんですが、ここでトークテーマを小金井市の課題というのに設定されて、この4番にいろいろ分野を書いていますけど、これはあれですか、小金井市独自の課題に結構フォーカスしたところに行くのか、あるいはもうちょっと日本全体の課題ぐらいの規模感で与える課題なのか。何かこの設定する課題のテーマ、中身についてもしお考えがあれば、教えていただければと思います。

エヌエス環境 基本的には、これから市の取組にしていくための市民からの提言としていきますので、小金井市内についての課題の抽出というところをテーマにしていきたいと考えております。

和田委員 いいですね。そしたら、例えば再エネ・省エネであったり、ごみのところであったり、できるだけデータドリブンで進めるべきというか、市で現状、今こういう状況になっていますよと、ここが問題点ですよみたいな、できるだけトークテーマにする問題の絞り込みをしていくと、さらに議論が面白くなるんじゃないかなと。あんまり大きなふわっとした問題設定だと何か盛り上がらないので、いかに落とし込みできていくかというところがいいかなと思いますし、それでまた意外と

面白い意見が出てきたりして、計画のほうにも役立つかもしれませんが、ぜひよろしくをお願いします。

ありがとうございます。

椿副会長

ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

では、私から。1つ教えてください。今のグループワークについてなんですけれども、途中でメンバーを、4番のところに「グループのメンバーを入れ替えることで」と書いてくださっていて、これは15分掛ける4回やる中で、自由にほかのグループのところに移動できますよみたいな、各回移動できますよというようなスタイルでしょうか。もしお決まりでしたら教えてください。

エヌエス環境 基本的には、皆さんが全てのテーマについてお話しいただくような順番ですね。例えば再エネについた方は、次はまちづくりに行きます。全てのところでやって、その順番はいろいろ事前に座った席に着いて、この方は次はこちらです、この方は次、最後はこのテーマですという形で、一定の方と話すのではなくて、様々な方と意見交換することで、「あ、さっきこういうことを聞いたから、実はこっちはこうなんじゃないかな」という、いろんなひらめきにもつながるようなグループワークをしていければと考えております。

椿副会長

ありがとうございます。自分としてはあんまり、何回かはやったことはあるんですけども、多分、御経験豊富だと思うので、単なる感想にすぎないんですが、1回が15分なので、今おっしゃっていただいた、いろんなテーマで多様な方がいろんな意見をいただくということはとても意味があるのと考えるのと同時に、次の裏側の5番目の進め方というところを拝見したときに、15分で完結型みたいになるのか、4回で最終的な作業を、まとめるみたいな感じになるのか、その辺りはどんなふうなイメージでしょうか。15分、各回で何かまとめていくみたいな感じですか。

エヌエス環境 最初にテーブルについた、つかせていただいて、1回、2回目、3回目でそれぞれ3つテーマを設定させていただいていまして、再エネ、まちづくり、環境教育、これについて1回目、2回目、3回目でそれぞれのテーブルで意見出しをしていただいて、最後に4回目で最初のテーブルに戻っていただいて、ここのテーブルではこういう課題が出

ましたというので、それをそのテーブルごとにまとめていただく時間をつくるという形になっております。

椿副会長 分かりました。では、1つのグループで複数のテーマについてまず話し合っていくということなんですね。グループをテーマで分けてしまうのではなくて。私、4番の①、②、③に書いてくださったテーマでグループを分けるのかなと思っていたものですから。

エヌエス環境 テーブルのテーマというのは固定で決めます。人は移動して、そのテーマごとにお話をさせていただいて、最終的には一番最初のテーブルに戻って、そのテーマについてまとめるという流れになります。

椿副会長 そのテーマで最後にまとめるというのは、もともとのそのグループのテーブルのテーマですか。

エヌエス環境 そうです。テーブルのテーマです。省エネなら省エネのテーブル。

椿副会長 御説明ありがとうございます。ごめんなさい、ちょっとまだ個人的に消化し切れていないんだと思いますけど、4回を通してどういうふうな段取りで議論が深まっていくのかなというところが、ちょっとイメージがまだ十分に至っていないので、また改めて御説明いただく機会があればありがたいなと思いました。

ありがとうございます。

高野係長 また直前にはなってしまうんですけども、次回、7月1日にごさいますので、そのときに第1回目の、冒頭でも私が話したように、詳細のタイムテーブルも含めて御説明させていただけるような形で取ればと思いますので、よろしくお願ひします。

椿副会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。お願いいたします。

田頭委員 このグループワークのテーマなんですけれども、3つのテーマ、3つの分野についての課題ということで出させていただきました。この2番目と3番目、2番目がまちづくりが入っていて、3番目には環境教育や参加協働があるんですが、それぞれの分け方はいいと思っていますが、例えばですけど、どこに入るのかなというのが分からないのがあったので、お考えを教えてくださいなんですが、小金井は公民館等での学習や、そこからまた仲間づくりを行って、各まちの中で、例えばだけど、植木剪定グループみたいなものが公民館学習から生まれ

て、そのグループが小金井市のいろんな公共施設のお庭とか、植木とか植栽ですよ、生け垣の剪定を行うとか、そんなようなことも環境分野においてはグループがあります。そういう活動などもぜひ紹介していただきたいと思うんです。それがどこのグループに入ってくるかな、まちづくりなのかな、それとも環境教育なのか、参加協働なのかというところが、どこに入るというふうにお考えなのか、あるいはそれがどこに入っているというふうにして見せたほうが、より市民には意見が出しやすいのかとか、あろうかと思しますので、その辺をちょっと、特に今日はこれを見て、公民館学習がそういえばあったなと思ったんですけれども、現時点で何かお考えがあれば伺っておきたいと思いました。

以上です。

椿副会長 ありがとうございます。お願いいたします。

高野係長 個別のところになってしまうと、公民館での学習というところはあんまり明るくなかったところがあるので、今は答えるのが難しいんですけども。申し訳ないです。

田頭委員 分かりました。次、出しやすいようにという意味で質問いたしましたので、何かちょっとまた後で意見を出してよければ……。

高野係長 そうですね。もしそういったものが、市に特化した形でも行いたいという話だったので、そういった意見をどんどん言っていただくと非常に取り入れやすいかなと思いますので。

田頭委員 分かりました。それはいつ頃までにお出しすればいいですか。

高野係長 今から一、二週間程度で。

田頭委員 それだけあるんですか。

高野係長 ええ。どうでしょう。

田頭委員 分かりました。今ちょっと公民館の学習ということを出しましたので、この辺については検討していただきたいと思いますが、ほかのことももう少し精査して、何かありましたら、また早めに出したいと思しますので、よろしくお願いいたします。

高野係長 はい。では、お願いいたします。

田頭委員 1週間ですよ。

高野係長 こちらも精査させていただく時間が……。

椿副会長

じゃあ5月30日……。

高野係長

そうですね。5月30日で。

ちょうど今月ということをお願いできれば。

田頭委員

適当かと思えます。

岩佐課長

お願いします。

椿副会長

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、またお気づきの点、御意見等ございましたら、5月30日までに高野さんへメールでお寄せいただければということです。よろしくをお願いいたします。ありがとうございます。

そうしましたら、審議事項、議題のほうは以上となりますので、続いて、報告事項のほうに移りたいと思います。

では、報告事項の1番です。令和7年度環境政策課環境系の事業計画について。では、御説明をよろしくお願いします。

高野係長

令和7年度の環境政策課環境系の事業計画についてです。こちらは予算書に書いてあるものをそのまま加工して持ってきたものになりまして、事前にお渡ししているものの中で、3ページの「環境啓発に要する経費」のところが、ごめんなさい、4ページのところが委託料が抜けてしまっていた部分があったので、事前のデータにつきましては見ないで、こちらを参照していただければと思います。

個別の説明というのはこちら、今回は控えさせていただくんですけども、特に、めくっていただきまして、3ページの一番下のところに省エネチャレンジの達成記念品という形で、昨年度の審議会で御説明させていただきましたが、今年度、省エネチャレンジを50人規模から100人規模に想定して増やしております。

その何個か上のところに、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金というものであったり、そこが1,600万円の規模から1,970万円と、約330万円ぐらい増額して補助制度を実施してございます。

特に、それ以外でありますと、一番最後のページが環境配慮住宅型、環境楽習館のところになるんですけども、今まで、昨年度からですけども、こちらが委託事業から指定管理者の委託となりまして、消耗品等々がなくなって指定管理者への委託料だけになってございます。

指定管理者の事業の実施につきましては、令和6年度から実施しております。その報告書がそろそろ出来上がりますので、こちらにつきましては、本審議会ですら昨年度の実績の報告という形で、次回の審議会以降で報告させていただければと思っております。

こちらにつきましては、こんな簡単な報告だけにとどめさせていただきます。

以上です。

椿副会長

ありがとうございました。ただいまの御説明について、御質問等ございますか。大丈夫ですか。

では、次に参りたいと思います。報告事項(2)のその他、よろしく願いいたします。

田山主事

野川環境フィールドワーク、森林教育事業について御説明させていただきます。

まず、野川環境フィールドワークですが、お手元にチラシがあるかと思うんですけれども、6月7日土曜日に行く予定となっております。

先日、19日が申込みの開始日だったんですけれども、すぐにAとBの「水辺の自然を観察しよう」と「野川の環境と生きもの調査」についてはすぐに達しまして、あと、Cの野川の清掃大作戦のほうは今も募集中です。

私ごとなんですけれども、野川の清掃大作戦には、私の子供2人も小学生の時代によく参加させていただきまして、清掃させていただいているんだか、遊んでいるんだか分からないような感じになって、帰ってきたことがあるんですけれども、私もこちらに参加させていただきますので、楽しみにしております。

もう1つは森林教育事業のほうなんですけれども、そちらもチラシがあるかと思っております。こちらは中学生向けの事業となりますが、先日、20日に事前ガイダンスを行いました。そちらのガイダンスは学芸大学で行ったんですけれども、ちょっと今どきだなと思いましたが、ほとんどの子がウェブで参加をしておりました。実際にそちらに来ていたのは1組の親子の方だけでした。

森の間伐体験は5月25日、6月8日、6月22日に行く予定となっております。私は5月25日に参加させていただこうかと思っております。

大学でのものづくりのほうは8月の3日間を予定しておりまして、自由に出入り、生徒さんが動けるようになっておりまして、いろいろな加工する機械で何か作品を作成していただいて、それを市のどこかの場所に寄贈するという形になっております。とても楽しそうな事業となっております。

こちらで報告は以上となります。

椿副会長

ありがとうございました。

ただいまの御説明に対して、何か御質問はございますか。

せっかくなので1つ、椿です。質問なんですけど、野川環境フィールドワークのAとBが既に定員で、いっぱいになったといううれしい御報告をいただいたので、これ、分かる範囲で結構です、大体毎年同じような方が参加されているのか、結構新規の方が多いのかという、いかがですか。

岩佐課長

新規だと思います。

椿副会長

そうですか。

岩佐課長

もちろんリピーターも中にはいますけど。大体、毎年同じようなメンバーということは今まではないです。

椿副会長

分かりました。ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。大丈夫ですか。

ありがとうございました。以上で報告事項が終わりまして、全体を通して、委員の方、何か御意見、御質問等はございますでしょうか。大丈夫ですか。よろしいですか。

では、特にないようでしたら、次に進めさせていただきまして、4番目、次回の審議会の日程について、事務局からお願いいたします。

高野係長

次回の第2回環境審議会につきましては、7月1日火曜日、午後2時から本日と同じここ、マロンホールで行います。通知や資料につきましては、また別途、開催が近くなりましたら発出いたしますので、よろしくお願いいたします。

また、第4回までの日程についてメールでお送りしているところになるんですけども、第4回目は10月7日という形で配信していたんですが、第4回目が10月28日火曜日の午前10時からという形に変更したいと思います。

また、こちらも今日、全員の委員さんにメールでお送りさせていただくんですけれども、第2回が7月1日で、第3回目が8月19日火曜日の午前10時から、場所は本庁舎の第1会議室か、こちらのマロンホール、どちらかにまだ決まってないんですが、にしております。

第4回目が、10月7日ではなく、10月28日火曜日の午前10時から、場所は未定となっております。また別途メールでお送りさせていただきます。

事務局からは以上です。

樫副会長 ありがとうございます。何か御質問等がございますか。

次回は7月1日の火曜日午後2時からということで。ありがとうございました。

以上で、説明いただきましたけども、ほかに何か御意見ほか、ございますか。

お願いいたします。

荻原専任主査 せっかくなので、すいません。お荷物になってしまうかと思いますが市が毎年行っている環境調査測定の昨年度の報告書ができましたので、お時間があつたら見ていただいて、御意見がありましたらいただければと思います。よろしくをお願いします。

樫副会長 ありがとうございます。では、お時間があつたら御覧いただければと思います。

ほかにはよろしいでしょうか。

では、特になければ、これをもちまして令和7年度第1回の環境審議会を閉会させていただきたいと思います。

あと、事務局もよろしいですか。

高野係長 大丈夫です。

樫副会長 では、今日は長時間、すごく御意見もたくさんいただきまして、ありがとうございます。今後もよろしくをお願いいたします。

高野係長 ありがとうございます。

樫副会長 ありがとうございます。

— 了 —